

# 登山の思い出

## 御嶽山へ雪山登山



## 槍ヶ岳の縦走



登山は社会人に成りたての頃に、富士山の吉田口から登り8合目で高山病になりダウンし、翌日に何とか登ったことに始まり、なかなか手ごわいが費用があまりかからないことから続けています。結婚してから、妻が山登りを一緒にするようになり、1991年から96年にかけて、積極的に100名山に登り、日本の北の利尻島から南の屋久島まで行って100名山を完登しました。100山目は北アルプスの笠岳でした。妻も喜んでくれて、一緒に登ろうということで、妻の登っていない山については10数山に登りなおしての一緒に100名山達成でした。その後は、前に登った山でいい思いの残ったコースとか、縦走でつながっていないコースとかを選んで山登りを楽しんでいます。最近は仲間をお誘いして登ったりしています。

登山は「いい思い」をしたいと始めたような気がします。いい思いとは自分なりに考えたのは、

- 1、目的があること(goal)
- 2、新鮮なものを求めていること(challenge)
- 3、楽しいこと(success)

山道を歩きながら考えたいいい思いとは、この三拍子が揃って成り立つことで、楽しいことの要素には継続することも含まれ、経験と努力の積み重ねがなければ場なら無いが、かと言って過去の思いにしがみついているのはいけない。これからの人生は自分に合ったいい思いを探し求めながらの活になるだろう。そして、何と行っても健康でなければ、何も楽しくは無い。そんなことから山行きも無理をしない、腹八分目の満足があれば良いと決めている。